

評価細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 法人理念「～常に、人としての尊厳を守り、利用者お一人おひとりがその人らしく、自立した豊かな生活を送っていただけるよう支援します～」が明文化され、それを踏まえて、3つの基本方針「自由」「自主」「自律」が明文化されている。理念・基本方針は、職員必携等に明記し、配布するとともに会議や朝礼での読み合わせ等を通じて、職員への周知を図っている。また、利用者・家族等に向けた周知については、ホームページ、パンフレットへの掲載や事業所内に掲示を行うとともに、契約時やその他機会を捉えて周知に努めている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 障害福祉動向については、法人会議や各種の研修に参加する等して情報収集に努めている。また、地域の福祉ニーズについては、関係機関との情報交流等を通して把握に努めている。さらに、経営会議を通じて事業所の経営状況を分析し、適正な経営管理に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
③	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 利用者状況の動向や事業所の経営状況を分析し、具体的な経営課題（就労状況、利用者の障がい特性の多様化や高齢化の対応、人材確保・定着、職員教育、職場環境整備、キャリアパス、事業所整備、安定した継続経営等）を明確化し、課題改善に向けた取り組みを行っている。		
改善できる点／改善方法：		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 法人の中・長期計画として、平成29年度～平成33年度に渡る5カ年計画を策定し、中・長期ビジョンを明確にしている。「基本的な考え方」「利用者目線の安全・安心な施設管理」「職員の育成、確保、労働環境の改善」「多様化する利用者への適切な対応」「持続可能な法人経営」等、具体的な内容になっており、実施項目を明示している。		
改善できる点／改善方法：		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 中・長期計画を踏まえて、各年度単位に位置付けた事業計画を策定している。事業計画は、事業所の基本方針を示し、各事業毎の目標を定め、事業所運営全般に渡る現状と課題、改善に向けた実施計画を詳細に計画している。		
改善できる点／改善方法：		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 事業計画は、各部署から職員の意見を聴取し、各部署の会議、経営会議等を通じて策定や見直しを行っており、組織的な取り組み体制ができている。また、年度当初に事業計画を全職員に配布するとともに、各種会議での説明を通じて職員周知を図っている。		
改善できる点／改善方法：		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・㉠・c
良い点／工夫されている点： 利用者への周知については、障がい特性により、理解の困難さがあるが、行事計画等を中心に周知を図っている。また懇談会等の機会を捉えて説明を行うとともに、ホームページでも事業計画を掲載している。		
改善できる点／改善方法：		
利用者への周知について、利用者・家族が施設のステークホルダーの重要な一員であることや、その人なりの意思決定支援のあり方が重要になってきたことを考えれば、利用者の障がい特性や一人ひとりの個性に合わせて、計画の要旨についてのわかりやすい資料作成や説明方法の工夫に向けた取り		

組みに期待したい。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 法人独自のサービス評価基準を策定し、毎年、自己評価を実施し、分析・検討している。また、職員の自己評価を行うとともに、今年度は岐阜県福祉サービス第三者評価を受審している。		
改善できる点／改善方法：		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 自己評価や岐阜県福祉サービス第三者評価の受審結果から把握した課題に対して、職員参画の下、改善策・改善実施計画を立案し、解決を図る組織体制を整備している。		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 運営規程や事務分掌表において管理者の役割と責任について明文化し、朝礼、職員会議や研修等の機会を捉えて、表明する等して周知を図っている。BCP計画で災害等の有事の際における役割も明らかにしている。		
改善できる点／改善方法：		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 園長はe-ラーニングの活用も含め、事業運営を取り巻く関係法令に関する研修会に参加するとともに、職員への周知を図っている。また、職員のコンプライアンス意識を高めるべく共通理解の推進に		

取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 事業計画の中で明記されている「～サービスの向上～」の具体的な実践のため、園長は、長年の実践の経験知を活かし、日常的な業務の中で職員の意見聴取に努めるとともに、施設の運営に反映させている。また、定期的に面談を行い、業務等の助言や指導等に取り組む等、積極的にサービスの質の向上に向けた取り組みに指導力を発揮している。		
改善できる点／改善方法：		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 人事労務、財務等の現状分析については法人による組織的な仕組みが確立している。経営成績及び財政状態について、毎月、法人で分析するとともに、業務の効率化について、職員会議や経営会議等で検討する等、経営体質の強化を図っている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 人事の裁量権は法人本部にあるが、事業所としての必要な人員、必要とする職種や人員体制を法人本部に伝えている。また、幅広く求人チャネルを拡充する等して人材確保に努めるとともに、チューター制度等のOJTの充実、資格取得の奨励や相談体制づくり等の定着対策も強化させている。		
改善できる点／改善方法：		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 人事考課については法人で客観的な人事考課基準を整備し、期首の目標設定、期中のフィードバック面談、期末評価の一連のプロセスと連動した総合的な人事管理を行っている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 職員の有給の消化率や就業状況を定期的にチェックし、有給休暇の積極的な取得への取り組みや出産・育児休暇の充実等、ライフワークバランスに配慮した適切な就業環境作りに努めている。福利厚生については、福利厚生センター、民間社会福祉事業従事者共済会に加入している。また、健康診断の実施や職員の相談窓口の設置等、充実した福利体制を確立している。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 事業計画の中で、「～福祉人材の資質向上～」が明記されており、期首の目標設定、期中のフィードバック面談、期末評価という一連のプロセスの仕組みを活用し、職員個々の育成に向けた取り組みを行っている。		
改善できる点／改善方法：		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 事業計画の中で研修のあり方について触れられており、外部研修、園内研修、OJT、チューター制度等の多彩な研修体制を整備し、計画的な研修を実施している。現在はコロナ禍の状況にあり、外部研修についてはウェブ研修等の活用も採り入れている。		
改善できる点／改善方法：		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 新人向けの職員研修やチューター制度の実施、職員一人ひとりの業務に着目したOJT研修、職員の職位に着目した階層別研修、テーマ別研修等を実施し、さらに、e-ラーニングや自己啓発援助制度を取り入れる等、職員の研修機会を充実させている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点：		

今年度は、コロナ禍の状況にあり、実習生の受け入れはかなり制限的であるが、福祉系大学等の受け入れを行っている。実習生受け入れマニュアルを整備し、養成校と連携しながら受け入れている。受け入れにあたっては、実習オリエンテーション、カンファレンスや振り返りを行う等して指導にあたっている。
改善できる点／改善方法：

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

	第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	
21 Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： ホームページで施設概要、サービスの内容、事業計画、事業報告、財務状況報告等、事業運営に係る情報を幅広く積極的に公開する等、運営の透明性の確保に努めている。	
改善できる点／改善方法：	
22 Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 法人で経理規程等を整備し、事務、経理、取引等についてルール化している。法人独自の内部監査を実施するとともに、公認会計士（監査法人）の外部監査を受ける等、適正な運営に取り組んでいる。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
23 Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 事業計画の中で「地域交流」について明記されており、地域との関わりの基本姿勢を示している。コロナ禍の影響で、地域交流への取り組みが困難な状況にある中でも、地元の行事への参加やカフェレストラン、パン工房の営業を通じて地域交流に取り組んでいる。	
改善できる点／改善方法：	
24 Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： ボランティア受け入れマニュアルを整備し、受け入れ体制を確立している。現在、コロナ禍のため	

、受け入れは制限的にならざるを得ない状況であるが、例年は、ボランティアを積極的に受け入れている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ－４－（２）－① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 地域に開かれた事業所として、地域を巻き込んだ関係団体のネットワーク作りに取り組んでいる。また、関係機関との各種会議への参加等により関係機関・団体との情報交換を図り、連携強化に努めている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 地域の福祉ニーズについては、行政関係部局、障害者就業・生活支援センター、特別支援学校、相談支援事業所等の関係機関・団体との情報交流活動を通して、把握に努めている。		
改善できる点／改善方法：		
27	Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・㉑・c
良い点／工夫されている点： 今後、社会福祉法人制度改革の流れの中で、またSDGsの潮流の中で、社会福祉法に規定された社会福祉事業にとどまらない地域貢献活動がますます重要になってくる。法人全体での出前講座等の実施や地域の福祉避難所としての機能を有している。		
改善できる点／改善方法： 障害福祉サービス多機能型事業所としてのリーダー的存在である<u>岐阜県福祉事業団立</u>の事業所の使命として、今後とも継続して、地域の潜在的なニーズの把握に努めるとともに、社会福祉事業ではない公的な地域貢献活動のさらなる拡充に向けた取り組みに期待したい。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービスについて共通の理解をもつための取組を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 利用者の人格を尊重する観点からサービスを提供している。また、研修や各種会議等の機会を捉えて、職員への周知を図るとともに、不適切な関わり防止や権利擁護に関する意識を高めるべく取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： プライバシーに関するマニュアルを策定し、日常的な生産活動や生活場面において適切な支援に努めるとともに、各種会議や研修を通じて職員への意識づけに取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： ホームページでは事業所の内容や取り組みを掲載し、サービスを選択できるようわかりやすく工夫している。また、パンフレットを作成し、見学や体験の要望にも積極的に対応している。		
改善できる点／改善方法：		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： サービス開始にあたっては、重要事項説明書やパンフレット等の資料でサービスの内容や利用方法、費用等を説明し、利用者・家族の同意を得て契約を締結している。		
改善できる点／改善方法：		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 事業所の特性から地域の利用者の通所事業所としての機能を有しているが、利用終了時にも文書を交わし、サービスの継続性に配慮した対応に努めている。		

改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	㉓・b・c
良い点／工夫されている点： 利用者満足度調査の実施し、調査結果を分析し、改善を行っている。また、なんでも相談での意見聴取や日常的な支援の中でのコミュニケーションを通して要望や意見等をできるだけ汲み上げるよう努めている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	㉓・b・c
良い点／工夫されている点： 苦情解決の体制や仕組みを整備しており、担当者、責任者や第三者委員等の外部の相談窓口についても重要事項説明書に記載するとともに、事業所内に掲示している。		
改善できる点／改善方法：		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	㉓・b・c
良い点／工夫されている点： 日常的な支援の場面で、非言語的コミュニケーションも活用しつつ、利用者の意向の把握に努めている。また、自治会等を通して意見聴取に努めている。さらに、毎月「なんでも相談」の実施を通して意見を述べやすい環境づくりに努めている。		
改善できる点／改善方法：		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	㉓・b・c
良い点／工夫されている点： 寄せられた意見に対しては、対応マニュアルを整備し、迅速な対応に努めている。マニュアルは、定期若しくは随時の見直しを行っている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	㉓・b・c
良い点／工夫されている点： 緊急時対応マニュアル、事故対応マニュアル等の各種マニュアルを整備し、リスクマネジメント委員会を設置して、リスクマネジメント体制を構築している。また、ヒヤリハットについて収集・分析		

し、職員間で共通し、事故予防に努めている。		
改善できる点／改善方法：		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 感染症予防・発生時マニュアル等を整備し、講習会や感染症研修を実施する等して予防に努めている。看護師が配置されており、発生した場合の迅速な対応体制ができています。		
改善できる点／改善方法：		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 災害マニュアルを整備し、BCP(事業継続計画)を策定している。防災訓練・避難訓練等を実施し、災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。また、地域の福祉避難所として災害時の受け入れ体制を整えている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 福祉サービスの標準的な実施方法については、各種マニュアルにて、個々のサービスに応じたマニュアルを整備するとともに、職員研修を通じて支援の質の標準化に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 福祉サービスの標準的な実施方法の見直しについては、各種会議にて各種規程、各種マニュアル類の定期的な見直しを実施している。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	㉠・b・c

良い点／工夫されている点： 統一した手順と様式を用いてアセスメントを行い、それに基づいて把握された支援ニーズや課題を明確にし、本人・家族の意向を踏まえ、支援目標を具体的に明示し、各職種の参画のもと個別支援計画を策定している。		
改善できる点／改善方法：		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 計画はモニタリングを実施し、6ヶ月に1回、利用者・家族の意向を踏まえて関係職種の参加の下、会議で検討し、評価・見直している。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 記録様式は統一した様式で、標準化されている。パソコンのネットワークシステムを整備し、職員間で情報を共有化している。		
改善できる点／改善方法：		
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 記録管理について保管・保存・廃棄に関する規程を定め、厳重に管理するとともに、個人情報保護マニュアルを整備し、各種会議等を通じて個人情報保護の意識を高めている。		
改善できる点／改善方法：		

評価細目の第三者評価結果 (障害者・児福祉サービス版)

A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1-(1) 自己決定の尊重

	第三者評価結果
A① A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	(a) b・c
良い点／工夫されている点： 利用者の意思決定支援の観点から、個別面談の中で希望や意向などを聞き取り、利用者の意思を尊重し、個別支援計画に反映させている。モニタリングで新たな課題やニーズが明らかになれば、部署ごとに話し合いが行われ、直ちに対応している。また、利用者懇談会やなんでも相談があり、利用者の意見を広く聞き取る場が設けられている。	
改善できる点／改善方法：	

A-1-(2) 権利擁護

	第三者評価結果
A② A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	(a) c
良い点／工夫されている点： 虐待防止、身体拘束のマニュアルが整備され、事務所に配置してある。また、朝礼や会議等での話し合いや、毎月の虐待防止チェックの実施を通じて、人権擁護や虐待防止に係る職員の意識を高めている。また、ヒヤリハットを活用し、事故防止につなげている。現在はコロナ禍の状況にあり、権利擁護に関する研修についてもオンライン研修を受講している。	
改善できる点／改善方法：	

A-2 生活支援

A-2-(1) 支援の基本

	第三者評価結果
A③ A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	(a) b・c
良い点／工夫されている点： 本人の主体性を尊重した寄り添う支援に努めるとともに、利用者の潜在的な強みを引き出す観点からアセスメントを実施し、個別支援計画に反映させ、計画に基づいた支援にあたっている。	
改善できる点／改善方法：	
A④ A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	(a) b・c
良い点／工夫されている点： 一人ひとりの特性に応じた支援を行っている。視覚障がいや聴覚障がいがある利用者に対しても筆談、手話、タイマー、携帯、スマホのアプリ等、意志疎通がしやすいものを駆使して、コミュニケーションを図っている。また、施設外のサービスを活用したり、地域の交流会やサークルに参加している利用者もいる。	

改善できる点／改善方法：	
A⑤ A-2-（１）-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 相談箱の設置やなんでも相談の開設の他、日々の支援の中で、その場その場での話し合いやひとりずつの面談の場を設け、利用者の意思を尊重する支援としての相談体制ができている。相談内容については支援会議で話し合い、対応している。	
改善できる点／改善方法：	
A⑥ A-2-（１）-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 現在はコロナ禍のため、活動が制限的にならざるを得ない状況にあるが、利用者のニーズに応じて、個別支援計画に基づき、例えば、体育館やプールへの参加やDVD観賞の支援を行っている。個別支援計画については、6か月ごとに利用者の意向を確認しながら、見直しをしている。	
改善できる点／改善方法：	
A⑦ A-2-（１）-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 利用者の状況をモニタリングし、それぞれの障がい特性の理解に努めている。利用者の意見や要望を踏まえて個別支援計画を見直し、各部署会議で利用者それぞれの個性や障がい状況に合わせた支援方法を検討している。また、毎月の研修を通して、障がい特性や利用者理解についての学びを深めている。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-（２） 日常的な生活支援

	第三者評価結果
A⑧ A-2-（２）-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 就労支援事業所であるため、食事介助、入浴介助、排泄介助等の支援は原則行わないが、利用者一人ひとりの障がい特性を把握し、個別支援計画に織り込んで、それぞれに合わせた生活支援や作業支援を行っている。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-（３） 生活環境

	第三者評価結果
A⑨ A-2-（３）-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： トイレや生活環境は清潔に保たれ、安心安全な日中活動に配慮されている。また、作業活動も利用者の障がい特性に合わせてできるよう工夫されている。	

改善できる点／改善方法：

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練

	第三者評価結果
A⑩ A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 個別にマニュアルを作成し、作業アドバイスをを行っている。また、利用者の心身の状況に応じて、個別に訓練を行うことで、活動の幅が広がっているとの事であり、利用者主体の訓練となっている。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-(5) 健康管理・医療的な支援

	第三者評価結果
A⑪ A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 利用者の健康状態については、日常的な作業活動支援や生活支援の中で観察し、朝礼や日誌等を通じて職員間で共有している。事業所での身体の様子については、連絡ノートに特記し、家族に報告をしている。	
改善できる点／改善方法：	
A⑫ A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 非該当項目	
改善できる点／改善方法：	

A-2-(6) 社会参加、学習支援

	第三者評価結果
A⑬ A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 現在は、コロナ禍の影響で、制限的にならざるを得ない状況にあるが、例年、園の行事等での地域社会との交流や地域の夏祭り等の行事に参加するように促している。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援

	第三者評価結果
A⑭ A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	(a)・b・c

良い点／工夫されている点： 利用者の意向を尊重し、それぞれの個性や障がい特性を踏まえ、作業活動や日常生活活動を通じて、地域生活の継続に向けた支援を行っている。
改善できる点／改善方法：

A-2-（8） 家族等との連携・交流と家族支援

	第三者評価結果
A⑮ A-2-（8）-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 現在は、コロナ禍のため、家族との交流や連携が困難な状況にあるが、その中でも、連絡ノート等を用い、家族とやり取りを行っている。また、緊急時やいつもと様子が違う場合等は、いち早く家族と連絡を取ることができる体制にある。	
改善できる点／改善方法：	

A-3 発達支援

A-3-（1） 発達支援

	第三者評価結果
A⑯ A-3-（1）-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 非該当項目	
改善できる点／改善方法：	

A-4 就労支援

A-4-（1） 就労支援

	第三者評価結果
A⑰ A-4-（1）-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 障がい特性に合わせてできる作業、できない作業と分けるのではなく、利用者の意思を尊重して作業に取り組めるよう作業環境を工夫する等、本人の潜在的な可能性を引き出す支援を行っている。また、利用者が自発的に考えて動けるように支援している。ハローワークや障害者就業・生活支援センター等関係機関と連携関係ができています。	
改善できる点／改善方法：	
A⑱ A-4-（1）-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 利用者の身体状況に応じた内容、仕事時間に配慮し、障がい特性を考慮した作業を提供している。利用者主体で、作業が進められるよう支援している。その日の作業工程を始業前に説明し、確認を行う等しながら、計画にも組み込んでいる。また、定期的に工賃支払い要項について説明を行っている。	

改善できる点／改善方法：	
A⑱ A-4-（１）-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	Ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 本人に合った職場開拓ができるようアセスメントを実施している。一般就労の場合、障がい者就業・生活支援センター等、関係機関と連携し、情報収集や定着支援等を行っている。また、作業の幅を拡充すべく業者との連携を深めている。	
改善できる点／改善方法：	

A-5 県独自項目

A-5-（１） 職員の援助技術の向上

	第三者評価結果
A⑳ A-5-（１）-① 職員のスキルの段階にあわせて計画的に職員の援助技術の向上に取り組んでいる。	Ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 職員のスキルの段階に合わせた計画的な研修制度があるが、現在はコロナ禍のため、研修を定期的にオンライン研修として行っている。また、e-ラーニングを活用する等して、援助技術を学ぶことで職員のスキルの向上を図っている。	
改善できる点／改善方法：	

A-5-（２） I T 技術や知識の修得

	第三者評価結果
A㉑ A-5-（２）-① 利用者の社会生活に必要なI T 技術（パソコン、インターネット、メールの利用等）や知識の修得に向けた支援をしている。	a・Ⓑ・c
良い点／工夫されている点： I T 技術の活用は時代のトレンドであり、事業所内のWi-Fi環境の整備等、インターネット技術提供の推進が可能な状況にある。	
改善できる点／改善方法： 今後、利用者が興味を持てるように働きかけを工夫する等、I T 技術の習得支援に向けた取り組みに期待したい。	